

開設

群馬県認知症疾患医療センター

美原記念病院



美原記念病院は、群馬県から指定を受け、平成28年4月に認知症疾患医療センターを開設しました。「認知症医療疾患センター?」「医療」や「疾患」…順番が混乱してしまいそうですが、これが覚えられないからといって「もしかして私、認知症の始まり?!」と心配しなくても大丈夫だと思います。しかし念のため、正式名称は「群馬県認知症疾患医療センター」です。

「最近、新しいことが覚えにくいみたい…」「些細なことなのにすぐイライラするようになったかな?」そんな方はぜひ一度、この「美原通信」の記事に目を通してください。医師、看護師、相談員がそれぞれの立場から、認知症や当センターのことを紹介しています。そして気になることがあれば、お気軽に当院専用ダイヤルにお電話ください。「ご本人・ご家族、どなたからのご相談もお受けしています。実際に、4月の開設以降、20代後半の方から80代の方まで、幅広い年代の方からお問い合わせをお受けしています。」

2020年には、65歳以上の5人に1人が何らかの認知症を持つと言われていています。今、きちんと検査しておくことで、できることがあります。また、認知症に関する正しい知識を持つことは、これからの地域を支える一人ひとりの方々にとっても、とても大切なことです。「なりたくない」ではなく、「誰しもある可能性がある」「ものだからこそ、今、できることから始めましょう。私たちも脳・神経疾患の専門病院として、全力でサポートいたします。」

CONTENTS



開設のご案内 群馬県認知症センター	1
伊勢崎の物忘れの話 「病院に行きたがらねんさね」	3
日常に役立つ認知症ケアのお話	5
群馬県認知症センター 相談員の役割	7
神経難病患者さんに対するリハビリテーション どんなときにリハビリを検討しますか？ シリーズその1 呼吸編 1	8
CT 検査における医療施設間の被ばく線量について	9
開設のご案内 高齢者相談センター北・三郷（地域包括支援センター北・三郷）	10
ボランティア募集	11
外来診療医一覧	12

公益財団法人脳血管研究所関連施設

医療法人イアリ 美原診療所

372-0048 群馬県伊勢崎市大手町 1-1
TEL 0270-25-0112
FAX 0270-23-5522



介護老人保健施設 アルボース

372-0006 群馬県伊勢崎市太田町 427-3
TEL 0270-21-2700
FAX 0270-21-2704



訪問看護ステーション グラチア

372-0048 群馬県伊勢崎市大手町 1-1
TEL 0270-20-7676
FAX 0270-20-7677



ヘルパーステーション パテラ

372-0048 群馬県伊勢崎市大手町 1-1
TEL 0270-20-7678
FAX 0270-20-7677



特別養護老人ホームアミーキ

379-2217 群馬県伊勢崎市磯町 435-1
TEL 0270-20-2121
FAX 0270-20-2197



群馬県認知症疾患医療センター

372-0048 群馬県伊勢崎市太田町 366
TEL 0270-20-1700
FAX 0270-20-1701



居宅介護支援事業所みはら

372-0048 群馬県伊勢崎市大手町 1-1
TEL 0270-20-1551
FAX 0270-25-0430



ケアプランセンターみはら

372-0006 群馬県伊勢崎市太田町 427-3
TEL 0270-21-2703
FAX 0270-21-2704



伊勢崎市高齢者相談センター 北・三郷

372-0048 群馬県伊勢崎市大手町 1-1
TEL 0270-27-4548
FAX 0270-25-0430



地域事業局地域事業部

372-0048 群馬県伊勢崎市大手町 1-1
TEL 0270-27-4546



伊勢崎のもの忘れの話し

「病院に行きたがらねんさね」

認知症疾患医療センター
センター長

神澤 孝夫

○橋さんは、脳卒中の後遺症で軽い麻痺はあり、発症してから5年たちますが、

元気に月一度ほど通院されております。ご本人は現在、いたって元気ですが、こんなご相談がありました。

○橋さん 「ちょっと、先生、うちの近所の△山の奥さんのボケたみたいなんだよ。病院にいくついでに、先生にどうしたらいいか聞いてくれないって、旦那に

いわれてさ、ちょっと診てやってくんないかい」

先生 「あ、そうですね、いいですが、その前に○橋さんはおわかりありませんか」

○橋さん 「おら、大丈夫だよ。なんだ



ってあの奥さん、気はいい人なんだけどさ、言ったことすぐわすれてさ、ま、年のせいと違ってただけど、うちはキュウリ作ってるっていうのに、何回も持ってきて笑っているンさね。」

先生 「もともと、天然なんじゃないですか。とくに生活に支障がでるほどでないでしょ？」

○橋さん 「いやーそんなことねーさ、

あそこんちは、区の役員とかして、まーず、几帳面な奥さんでさ。きちんとしてさ。それが最近、グートボールの約束も忘れてこねーし、来年の祭りは、はーよすべーとかいってんさね。優しい気な感じの人だったんだけど、いろいろ言うてるんさ。おっかしくねーかい」

先生 「そ、そーです。それはちょっと、単なる忘れ、年のせいではないエピソードですね。ところで○橋さん、血圧は？」

○橋さん 「おらー、大丈夫だけど、こんな話してるとこっちの血圧があがっちゃまーさ。ま、あすこ

ちはせがれも、立派になったし、いいんだべけど、息子夫婦は転勤族で、うちにいやしねーから、うちらが様子見てやっせんさ。こないだなんか、あんな高い羽根布団、誰がねるんかと思うけど50万円くらいで買ってさ、おらーよせって言ったんさ。でも、なに言ったって、こっちの言うことなんか聞かねーからね。旦那もまーず参っちゃまってるよ。布団だけじゃねーらしいんさ。」

○橋さんの奥さん 「あなた、今日はあなたの診察なんだから、ひとんちの話は、ね、先生。相談されたって困りますよ。よしなさいな。」

先生 「とにかく、○橋さんは、今日は落ち着いているみたです。でも、その奥さまちょっと気になるますね。こちらの外来にこれないようでしたら、その旦那さんに群馬認知症疾患医療センター美原記念病院専用ダイヤルにご連絡いただけるように言ってくれますか」

○橋さん 「何だい先生、そんな電話が

いつはじめたんかい。」

先生 「この春からですよ。物忘れといわれてもなかなか年のせいかな判断がむずかしいですし、介護で大変とか、今回のように病院にどうやってつれてってほしいのか、教えて欲しいという、患者さんとその家族がたぐさんいるんですよ。その△山さんのようなケースもよくあります」

○橋さん 「そうい

んかい。わかったんさね。いいこと聞いたんね。その連絡のパンフレットもらってくんべ。」



現在、認知症高齢者の数は2012年の時点で全国に約462万人と推計されており、今後、全国で認知症を患者さんが2025年には700万人を超え65歳以上の高齢者のうち、5人に1人が認知症に罹患するといわれています。いま、私の外来はその真ただ中にいると感じます。厚生労働省が発表した今後の認知症施策の方向性において、「早期対応の遅れから症状が悪化し、行動・心理症状が生じてから受診しているケースが散見される」と現状を分析し、「今後目指すべきケアは、『危機』の発生を防ぐ『早期・事前的な対応』に基本を置く」とされています。しかしながら、なかなか病院受診されないことが意外に多いのです。「物忘れは年のせい」、「一過性で治るだろう」と思っていた、「本人に病院へ行くよう言うに言えなかった」、「本人以外の家族が反対した」、「認知症と診断されるのが怖い」、「病院の予約が取れない」、「病院にいきたくない」などさまざまな理由を耳にしますが、どれもその人の身になれば、よく分かる理由ばかりです。まず、受診に結び付けることが第一歩です。問題を家族の中で抱え込まないことであります。

群馬県認知症疾患医療センター美原記念病院

当院は、群馬県から平成28年4月1日から3年間の契約で、認知症疾患医療センターの指定を受けました。当センターでは、認知症疾患に関する鑑別診断・治療をはじめとし、地域のみなさまや医療・介護専門職の方々を対象の研修会を開催していきます。

診察についてはセンター長 神澤孝夫、神経内科医 美原盤、木村浩晃、看護・ケアについては認知症看護認定看護師 清水みどり、生活上の課題については精神保健福祉士 狩野悠による専門医療相談を行います。

当院は、脳・神経疾患専門病院として、MRI・SPECTなど、当院が有する専門機器を有効活用し、適切な診断・治療を行い、かかりつけ医や介護事業所、精神科病院と有機的に連携することで、認知症患者・家族が住み慣れた地域で暮らすことを支援していきます。

診察、相談をご希望の方がいらっしゃいましたら、群馬県認知症疾患医療センター美原記念病院専用ダイヤルにご連絡ください。

TEL 0270-20-1700

FAX 0270-20-1701

日常に役立つ 認知症ケアのお話

認知症看護認定
看護師

清水 みどり

こんにちは。

本年4月より、「群馬県認知症疾患医療センター―美原記念病院」で、認知症の方のケアを専門に、ご本人やご家族の困りごとに対応させていただいている、清水です。今日は、「日常に役立つ認知症ケアのお話し」として、認知症になったご本人はどんな想いなのか、また、家族として一緒に過ごしていくにはどのような工夫の仕方があるか、自分の体験談も交えてお話しさせていただきます。

初期の段階でご本人は、記憶障害を自覚し、『認知症かもしれない』と、うすうす勘づいていると言われています。そのため、「最近ぼけちゃって」というのが口癖になったり、忘れないようにメモをとるといった対処行動をとっています。この時点で病院に受診できると、確定診断の元に、認知症の進行を穏やかにするよう薬の処方や、日常の過ごし方をお伝えすることができ

ます。日常の過ごし方ですが、認知症の人は、時の流れの中での判断がつきにくくなり、そのため一生変わらない誕生日は覚えていられますが、日々変わる「今日は何日？」ということ

はわからなくなりま

す。今日が何日なのかわからない不安感から、同じ質問を繰り返したり、落ち着きをなくしたりします。このようなき、言葉は実態がなく、記憶の中からすぐに消えてしまうので、日時を紙に書いて伝えるとよいでしょう。月替わりカレンダーよりも、日めくりカレンダーなどは、よ

り認知症の人には理解しやすいといえます。

ここで、私の母の例をご紹介します。

私の母も認知症ですが、ポットに入れる水の量がわからず、ポット2台を壊してしまいました。そこで水の量をわかりやすく記入したところ、ポットを壊すことはなくなりました。(写真1)



(写真1)

くちぎりいっぱいに入れたため、湯があふれ出てしまっていたが、目印で使えるようになった。



また暖房器具の

例を

私

ポ

水

す

く

ポ

な

な

す

ほ

常

が

探

な

母に何を探しているのか聞いても答えられないため、端から見ると、至る所がさがそ引っかけ回している状態なため、家族としては困りものです。

つつい私も、専門家なのにも関わらず、「何してるの！お母さん」と言ってしまう。

すると語調の強さだけが心に残った母は、「怒られた」と感じてしまいます。しょんぼりとしてしまった母を見て、冷静になった私も、母の行動を考えます。

この行動は、最初は「バッグが見当たらないから探す」というような目的があったのです。しかし

しばらくするうちに、何をするのか忘れてしまい、思い出そうとその動作を続けているのです。

このようなとき、認知症の人には、「快」の感情を抱けるような関わりが大切です。うちの母はお茶と甘いものが好きなので、「お母さん、疲れたでしょ、お茶入れたから一息つきましょ」と、本人が心地良く感じ興味を引くものに誘うと、その



(写真2)

ガスファンヒーター、クーラーは使えなかったが、扇風機と、右写真の暖房だけは目印で使えるようになった。



動作から離れられま
す。そしてお茶を飲
み干すときには、先
ほどのことは忘れて
しまいます。

このように記憶障
害に対しては、「さっ
きも言ったでしょ」
と言うよりも、書き
とめておくことや、
解決が難しいことに

関しては話しをそら
すことも、認知症の
人の暮らしにくさを
改善するのに役立つ
ようです。

ほかにも日常の中
で、言葉で意識させ
てしまうと余計にで
きなくなってしまう
ことがあります。玄
関の上がりかまちの
昇降では、手すりを
持って欲しいのに、
言葉で言ったのでは
なかなか持てません
その言葉の意味を理
解し、動作に結びつ
けることが難しくな
っているのです。は
じめのうちは手を取
って手すりに誘導し
ていましたが、いつ
も私が傍にいるとは
限りません。そこで
あえて、玄関の、空
間は広いのですが、

手すりからは遠くな
ってしまう方を物で
ふさぎ、嫌でも手す
り近くから上り下り
できるようにしまし
た。すると自然に手
すりに手が伸び、持
ってくれるようにな
りました。

このように、ちょ
っとした工夫で認知
症の人の暮らしにく
さは改善します。

食事をしたばかり
なのに「食べていな
い」と言ったり、い
つも面倒を見ている
私を泥棒扱いするこ
とはないですか。

どうぞ認知症の人
をご家族に持つ皆さ
ま、心が疲れたとき
や、こんな時はどう
したらいいの?と悩
んだとき、群馬県認
知症疾患医療センタ

「美原記念病院の電
話を手にとってくだ
さい。皆さまと一緒に、みんなが笑顔に
なれる方法を考えま
す。」



認知症疾患医療センター

相談員の役割

認知症医療センター

相談員・精神保健福祉士

狩野 悠

認知症疾患医療センターでの相談員の役割は、「相談員」という名前の通り、皆さまからの相談をお受けする窓口です。「何を相談したらいいの?」「こんな当たり前なことを相談したら変に思われるかな」などと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、相談の内容はどんなことでも大丈夫です。認知症そのものや、患者さんやご家族の生活全般に係わることなど、どのような内容でもご遠慮なく、お気軽にお問い合わせください。例えば、これまでに寄せられた内容と、相談員としての対応には、次のようなものがあります。

相談 「受診をしたいけど、どの外来にかかればいいの?」

対応

認知症の方の中には、長時間待つことができない方や、慣れていない場所では落ちつかないなど、一般外来がそぐわない方もいらっしゃいます。そのような方のために、当センターでは月・火・水・金曜日のそれぞれの午後に認知症の方専門の外来予約を設けております。相談員が患者さんの状況をお伺いし、適切な外来のご予約をお取りします。

相談 「本人を受診させたいけど、どう話せばいいの?」

対応

ご本人の生活状況やご家族からのお話の内容を踏まえ、相談員だけでなく認知症看護認定看護師など、専門スタッフから受診に繋がるようなアドバイスをさせていただきます。

相談 「本人の言動や行動に対する対応方法を知りたい」

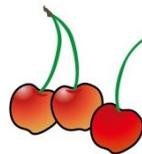
対応

相談員がご家族よりお話を伺い、医師や認知症看護認定看護師と共に対応方法について相談した上で、担当者からご家族へアドバイスをお伝えいたします。

相談 「介護保険の申請・利用方法について知りたい」

対応

介護保険の利用方法のご案内や、地域の相談窓口としての地域包括支援センターをご紹介します。また、早期支援が必要な場合には、地域包括支援センターや介護事業所と連絡を取り、サービス利用の調整や本人宅への訪問依頼を行います。



認知症は、症状によってご本人に応じた環境の調整や準備が必要となります。当センターを受診することで、適切な診断・治療につながり、症状の軽減や、進行を緩やかにすることができれば、認知症であっても、住み慣れた家・地域で暮らしていくことができます。まずは、認知症で悩んでいること、不安に感じていることがあればご遠慮なく相談してください。ご相談いただくことで、ご本人やご家族の不安や悩みが少しでも軽くなるような支援ができるよう、精一杯頑張ります。

神経難病患者さんに対する

リハビリテーション

どんなときに

リハビリを検討しますか？

シリーズその1
～呼吸編1～

神経難病
リハビリテーション科
菊地 豊

Q

▲▲▲ 質問 ▼▼▼

私は7年前に緊張型筋ジストロフィーと診断されました。何とか歩くことは出来ていますが、最近、痰が切りにくくなった感じがします。この症状に対してリハビリとかはありますか？

A

▲▲▲ 答え ▼▼▼

筋力の低下が主症状の神経難病患者さん(筋ジストロフィーや筋萎縮性側索硬化症など)では、呼吸筋力の低下により強い咳をすることができず、痰を出すことが難しくなる場合があります。痰は肺の中にある目には見えないうような細かいゴミを洗い流したもので、その多くは気管内分泌物です。ただし、気管内分泌物は1日に約1.5L分泌され、肺をキレイに保っています。ただし、呼吸筋力が低下して、気管内分泌物を痰として排出できなくなると、気管支内の空気の移動を阻害し、換気効率の低下など種々の問題を引き起こすことに繋がっていきます。痰が出にくいと感じられる患者さんのリハビリでは、咳の強さを図るような装置を使って計測し、流速に応じたリハビリを検討いたします。



写真:咳の強さ(咳流速)の計測

咳をした際の空気の流れをフローメーターで計測します。一般に270L/min以上あれば痰を出すのに十分な咳の強さがあるとされています。

咳の強さが少し弱くなっている患者さんでは、肺の柔軟性を向上させるリハビリと呼吸筋力を向上させるリハビリを行います。一方、咳の強さが痰を出すのに十分ではない患者さんでは、咳を機械で補助する装置の導入を検討します。

また、痰が出てくる状況にも注意が必要です。例えば、お食事の後に痰がからむようであれば、それは気づかない内に誤嚥(誤って食べ物が気管に入っている)している可能性があります。この記事で紹介した方法とは別のリハビリの検討が必要となります。上記のような症状がある場合は、一度主治医の先生に相談されることをお勧めいたします。

CT検査における医療施設間の被ばく線量について

画像診断科
中澤 将城

「被ばく」という

言葉が身近に、そして患者さんが心配なこととして高まってきたのは最近のことではないでしょうか。

昨年新聞などにより、医療施設間のCT検査被ばく線量の違いが10倍にもなると報道されました。医療被ばく研究情報ネットワーク（J-IRME）という組織が、日本全体の放射線診療全般の実態調査結果を行い、その結果から医療施設間の被ばく線量の差

りました。

まず、CT検査において線量が高ければ高いほど画像の鮮明度が高くなるという事実があります。しかし、疾患の診断を行う際に最低限の線量で患者さんの被ばくを少なくしていく線量の判断が重要となります。また、逆に線量を減らしすぎるあまりに画像がわるくなり、診断において有用な検査とならない危険性もあります。

そこで、その医療施設間の線量の違いを少なくしていく目

安として、診断参考レベルというものが設定されました。ちなみに、診断参考レベルの意義は、国内の他施設と線量を比較し、診断参考レベルよりも高い施設において撮影条件や画質を再考することで、診断参考レベルの比較だけで、良い検査・悪い検査というわけではありませんが、あくまで、医療施設間の被ばく線量の違いを小さくしていくという目安です。

美原記念病院のCT検査を、他の病院（診断参考レベル）と比較したところ、診断参考レベルを超える被ばく線量という検査はなく、最適化されたCT検査を行えているという結果を得ることができました。

理由として、①当院に導入されているCT機器が最新のCT装置であることがあげられます。そのため、被ばく線量を少なくするような最新

技術を使うことができます。②患者さん一人ひとりの大きさ（体厚）に合わせた、撮影を行っていることです。③医師とのカンファレンスをとおして少ない線量で診断に必要な画質を得ることを追及しています。

今後、最新のCT機器を用いて患者さん一人ひとりに合った最適な検査ができますよう努めていきます。専門用語や横文字が並び分野であるため、理解を深めるには時間がかかるかもしれませんが、検査についての質問等ありましたら気軽に声をかけてください。



開設のご案内

高齢者相談センター北・三郷

(地域包括支援センター北・三郷)

(北・三郷圏域)

27年4月に65歳

平成28年4月から、伊勢崎市では高齢者相談センター(地域包括支援センター)が市内9ヶ所に設置されました。

これまで、伊勢崎市の地域包括支援センターは1ヶ所(市役所内)のみでしたが、急激な高齢化に伴い、身近なところにあつて、より地域に密着してきめ細かな支援を行うために各圏域にセンターが設置されました。北地区と三郷地区が同じ日常生活圏域

となり、北・三郷圏域の高齢者相談センターを当法人が伊勢崎市から委託されました。

高齢者相談センターとは、「地域包括支援センター」の愛称です。高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して生活を続けられるように支援する機関です。「住み慣れた地域で安心して生活を続ける」というのは、とても大きなテーマです。身近な問題で、介護保険サービスを使う高齢者が増え続ける中、伊勢崎市では、平成

以上の方(第1号被保険者が支払う介護保険料が23%も引き上げられました。年金も減らされ、私たちの老後はどうやって守られるのでしょうか。

国は新しい仕組みとして、「地域包括ケアシステム」という切り札を示しました。簡単に言うと、自宅にいながら必要な介護や医療、生活支援を十分に受けられるようにするというものです。地域包括ケアシステムを地域でつくるためには、地域の力が必要であり、



地域包括支援センターの役割があります。個々の医療サービス、介護サービス、ボランティア、それから介護予防、生活支援、そういうパーツを個々ではなく、「全体を組み立て、適切なサービス・支援につなげる」ことです。

例えば、センターには、「近所のひとり暮らしの高齢者が閉じこもりで心配」「突然知らない会社から電話があつて、買ってもしない商品のお金を請求された」「急に親の認知症が進行してきて、家族として

どうしていいかわからない」「地域でどういった支援、ボランティアやサロン(集まる場所があるのか教えてほしい)など、さまざまな相談が寄せられています。センターでは、寄せられる相談に対して支援し、適切な機関やサービスに繋がっていきます。

北・三郷圏域は、伊勢崎市でも境圏域について、2番目に高い高齢化率(27.0%)となつております。

ひとり暮らしの方や高齢世帯が増え、地域での支え合いやつながり、見守りが大変必要になっております。昔で言う「向こう三軒両

隣」の近所付き合ひ、近隣住民が集まったり一緒にお茶をしたり、一緒に運動したりする居場所づくりなどが求められています。高齢者相談センター北・三郷では、地域の皆様とともに、「安心して生活が続けられるように」支援していきたいと考えております。お気軽に電話や来所で相談してください。よろしくお願い致します。





場所：伊勢崎市大手町 1 番 1 号
 （美原診療所同敷地内）
 電話：0270-27-4548
 担当：瀬間（社会福祉士）
 小林（看護師）
 久保（主任介護支援専門員）



ボランティア募集

介護老人保健施設アルボースでは、地域に開放された施設として、ボランティアを募集しております。



【ボランティアの内容】

- お手玉、書道、茶華道、囲碁将棋などの相手
- 踊り、コーラスなどの披露
- 介護のお手伝い

など



内容は、上記他なんでも結構です。時間もできる範囲で結構です。
 まずは、お気軽にお問い合わせください。



介護老人保健施設アルボース
 連絡先：0270-21-2700
 Mail：arbos-sw@mihara-ibbv.jp
 担当：相談室（大塚）



外来診察医一覧表

2016年7月1日現在

		月	火	水	木	金	土
神経内科	午前	美原 盤	美原 盤 木村	神澤 (脳卒中)	平柳	神澤 (脳卒中)	木村 五味(頭痛)
	午後						高尾
脳神経外科	午前	志藤	望月 赤路		赤路	谷崎	
	午後						
循環器科	午前	江熊				江熊	
	午後				江熊		
もの忘れ	午前						
	午後				木村	久松	
神経難病	午前				大平 (ハ°-キソ)		大平 (ハ°-キソ)
	午後			美原 盤	平柳		
内科	午前			美原 樹	荒井		
	午後						
整形外科	午前			畑			群馬大学
	午後						
リハビリ科	午前						
	午後	中村					
特殊外来	午前						ボトックス
	午後						セカンド オピニオン

は予約外来

- 受付時間 午前 8 時 30 分～午前 11 時 30 分
午後の診察は診療科により異なりますので、詳細は受付にお問い合わせください。
- 休 診 日 日曜日、祝日
※年末年始、お盆による休診日や担当医の変更は、ホームページ等でお知らせいたします。
※受付時間・休診日ともに、急患の方は、この限りではありません。
- 面会時間 午後 1 時～午後 7 時
※3 階病棟 311 号室～317 号室は午後 3 時～午後 7 時
- 支 払 い 入院費等の支払いは午前 9 時～午後 5 時までにお済ませください。



(公財) 脳血管研究所美原記念病院
群馬県伊勢崎市太田町 366
TEL : 0270-24-3355
FAX : 0270-24-3359
HP : <http://mihara-ibbv.jp/>